

はじめて

このテキストは、小学六年生までに国語で学習する基本事項をしっかり身につけるとともに、将来の中学入試にも十分対応できる、本格的な文章読解力を養成することを目的につくられました。

文章がある程度読めても、筆者の考え方や感じ方の持ちよう、また、作品の主題や要旨など内容の深いところまで読みとり、理解するためには、文章読解のポイントを把握しなければなりません。加えて、記述式の解答を求めるけい向が強まっている現在、理解したことを正確に伝えるための書く力・記述力がないと、入試において得点することはできません。

このため、テキストでは、読解力のポイントを学習することと並行して、基礎力としての漢字やことばの知識の学習と、文章を書く力をのばすための学習ができるしくみになっています。

国語の基礎を身につけ、文章を読みとるうえでのポイントを理解したら、あとはいろいろな文章に接すること広い世界に目を向け、社会がかかえるさまざまな問題について考え、思考力をおおいに深めてください。

このテキストを計画的に活用することで、一人ひとりが大きな成果をあげられることを期待しています。

◆ テキストのしくみと使い方 ◆

一・ 読解力をつける・国語の知識

基本問題

…… **考え方** を手がかりにして問題を解くことで、読解のポイントを学習します。

練習問題

……自分の力で問題を解くことで、「基本問題」で学習したことがらを定着させます。

国語の知識

……漢字・語句・文法の知識を身につけます。

二・ 読解の応用力と記述力をのばす

練習問題

発展問題

……さまざまなレベル・内容の問題を解くことで、読解力をきたえます。

記述力をのばす

……文章を書く力をのばします。

実力完成テスト

……テキストの総まとめのテストです。自分の学力を試してください。

◎漢字ドリルでは、六年生までに学習する漢字を覚えます。

六年国語 もくじ

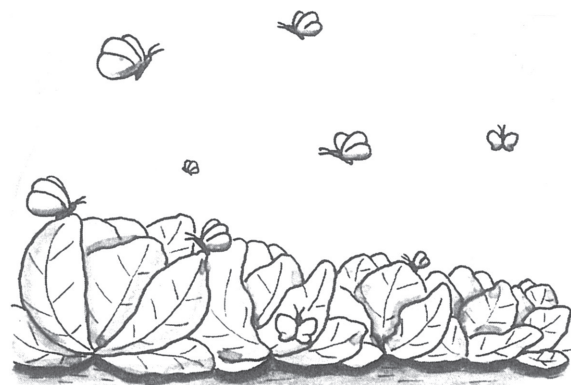
一・読解力をつける・国語の知識

1	説明文の読み方(1)	4
2	説明文の読み方(2)	8
1	かなづかい・送りかな	12
2	漢字の成り立ち・部首	14
3	漢字の画数・筆順	16
3	論説文の読み方(1)	18
4	論説文の読み方(2)	22
4	難しい漢字の読み書き	26
5	同音・同訓異字と同音異義語	28
6	熟語の組み立て／ 三字熟語・四字熟語	30
	漢字ドリル1	32
5	物語・小説の読み方(1)	34
6	物語・小説の読み方(2)	38
7	類義語・対義語	42
8	ことわざ・慣用句・故事成語	44
9	敬語	46
7	随筆の読み方(1)	48

二・読解の応用力と記述力をのばす

19	語句の意味・用法(2)	106
15	短歌・俳句の読み方	108
16	詩・短歌・俳句の読解	112
20	文学史の知識	118
	漢字ドリル4	120
17	説明文の読解(1)	122
18	説明文の読解(2)	128
[1]	推敲・原稿の直し方	134
19	論説文の読解(1)	140
20	論説文の読解(2)	146
[2]	説明文を読んで、意見を書く	152
	漢字ドリル5	158
21	物語・小説の読解(1)	160
22	物語・小説の読解(2)	166
[3]	論説文を読んで、意見を書く	172
23	随筆の読解(1)	178
24	随筆の読解(2)	184

	8	随筆の読み方(2).....	52
	10	文・文節・単語.....	56
	11	主語・述語・修飾語.....	58
	12	単語の種類(品詞)／ 名詞・代名詞.....	60
	9	漢字ドリル2.....	62
	9	詩の読み方(1).....	64
	10	詩の読み方(2).....	68
	13	動詞・形容詞・形容動詞.....	72
	14	副詞／擬声語・擬態語.....	74
	15	指示語・接続語.....	76
	11	伝記の読み方.....	78
	12	伝記の読解.....	82
	16	助動詞.....	88
	17	助詞.....	90
		漢字ドリル3.....	92
	13	記録文・報道文の読み方.....	94
	14	記録文・報道文の読解.....	98
	18	語句の意味・用法(1).....	104



	27	実力完成テスト(3).....	222
	26	実力完成テスト(2).....	216
	25	実力完成テスト(1).....	210
	22	知識のまとめ(2).....	204
	21	知識のまとめ(1).....	198
		漢字ドリル6.....	196
	【4】	随筆・物語を読んで、意見を書く.....	190

＊練習問題

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

2

説明文の読み方(2)

◆基本問題

● 上の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

問一 ②段落の要点を、二十五字以内で書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

考え方

中心文が最初におかれている段落の例です。したがって、最初の一文の不必要な表現をけずり、二十五字以内にとめます。句点まできちんと書きましょう。

問二 ⑥段落は、⑤段落に対してどのような関係にありますか。次の中から選びなさい。

- ア 前段の論点を受けて、新たに論を展開している。
- イ 前段の論点を、具体例でわかりやすく説明している。
- ウ 前段の論点に対して、それとは対照的な論を展開している。
- エ 前段の論点に、様々な角度から細かい検討を加えている。

考え方

⑥段落の冒頭の、転換の接続詞「では」に着目します。

本文

本文

ポイント学習

段落相互の関係・段落の要点

(1) 段落相互の関係のとらえ方

- ① 主な基本パターン……段落相互の関係を表す基本の形には、**発展・逆接・並列・例示・理由(原因)・補足・転換・結論**などがあることを、まず覚えておく。
- ② 冒頭の接続語に着目し、その接続語の働きから考える。
- ③ それぞれの段落の話題・要点を比べる……話題は最初の方に、要点は最初か最後の方に述べられていることが多い。

(2) 段落の要点のつかみ方

- ① 最初の方やくり返して出てくることばに着目し、**段落全体の話題**をつかむ。
- ② 最初や終わりの方に着目して**中心文**をつかんだら、話題をふまえて、中心文を肉付けしたりけずったりして要点をまとめる。

問三 筆者は、書くことの重要性を説いていますが、それはなぜですか。次の中から二つ選びなさい。

- ア 書くこと、自分の考えを確認できるから。
- イ 書くこと、脳にはたらしきかけることになるから。
- ウ 書くこと、あとで自由に消すこともできるから。
- エ 書くこと、自分の考えが次のステップへ進むから。
- オ 書くこと、いつまでも残しておくことができるから。

問四

⑥段落の要点を、簡潔にまとめて書きなさい。

考え方

⑥段落が、問題提起↓解答型の文章であることに着目し、最初の二文がこの型をそのまま表していることを読みとります。

問五

この文章を展開のうえから大きく三つに分けるとすると、次のどれが最も適切ですか。選びなさい。

- | | | | |
|---|-----------------------|---|-----------------------|
| ア | ① / ② / ③ / ④ / ⑤ / ⑥ | イ | ① / ② / ③ / ④ / ⑤ / ⑥ |
| ウ | ① / ② / ③ / ④ / ⑤ / ⑥ | エ | ① / ② / ③ / ④ / ⑤ / ⑥ |

考え方

問二をふまえると、わかりやすくなります。

＊練習問題

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

問一 この文章は何について述べたものですか。次の中から選びなさい。

- ア 「考える」ということについて
- イ 人間と他の動物とのちがいについて
- ウ ことばの働きと効力について

1 かなづかい・送りがない

ポイント1 かなづかい

【例題】 次の——線部のかなづかいが正しければ○、まちがって
ていれば×をつけなさい。

- (1) みじ|かい帯 () (2) みじ|かな話題 ()
- (3) 要求がと|おる () (4) どう|もありがどう ()
- (5) 一人づ|つ行く () (6) 舌つづ|みをうつ ()
- (7) いいかを|りだ () (8) 手を|挙げる ()

【解法】 現代かなづかいは、発音どおりに書く(↓(1)・(5)・(7))
のが原則ですが、次のような例外があります。

- ① 「ジ・ズ」と発音するもので、次のような場合は、「ぢ・づ」と書く。
 - (a) 二語が合わさってできたことば↓(2) (身+近ちかい)
 - (b) 同じ発音が重なって下の音がにごることば↓(6)
 - ② オ列の長音は、「う」で書き表す(↓(4))が、「お」で書き表すこともある。↓(3)
 - ③ 「ワ・オ・エ」と発音する助詞は「は・を・へ」と書く。↓(8)
- ★(2)・(3)などは、「身近な」「通る」などのように、漢字に直して、その読みから判断することもできます。

1 次の各組のことばのうち、かなづかいの正しい方をそれぞれ選
びなさい。

2 次の漢字の読みがなを、かなづかいに注意して書きなさい。

- | | | |
|-------|-----|-----|
| (7) | (4) | (1) |
| イ ア | イ ア | イ ア |
| 川 川 | つ づ | は は |
| づ づ | ず づ | な な |
| たい たい | | じ じ |
| (8) | (5) | (2) |
| イ ア | イ ア | イ ア |
| 入 入 | お お | も も |
| れ ち | う ぎ | よ よ |
| え え | | お お |
| (9) | (6) | (3) |
| イ ア | イ ア | イ ア |
| と と | つ つ | み み |
| ど ど | づ づ | そ そ |
| こ け | み け | ず け |
| う る | | い け |

3 次の文には、かなづかいのあやまりがいくつかふくまれていま す。それらを正しく直して、全文を書きあらためなさい。

- (1) 「こんにちわ」とゆうと、ようやく向こおも気づいてくれた。
- (2) どおりで兄はじしんまんまんのはずだと、ぼくはうなづいた。

ポイント2 送りがな

【例題】 次の——線部のひらがなを、漢字と送りがなで書きなさい。

- (1) 畑をたがやす () (2) ころよい風 ()
- (3) 父にしたがう () (4) やさしい問題 ()
- (5) うしろを見る () (6) 秋のおとずれ ()
- (7) かならず行く () (8) なごやかな家 ()

【解法】 送りがなのつけ方は、品詞によって次のような決まりがあります。

- ① 動詞……活用する部分から送る。↓(1)・(3)
 - ② 形容詞……「い」で終わるものは「い」から↓(2)、「しい」で終わるものは「しい」から↓(4)送る。
 - ③ 形容動詞……ふつうは「だ」から送るが、「か」「らか」「やか」がつくものは、そこから送る。↓(8)
 - ④ 名詞……ふつうは送りがなをつけないが、次のようなときは送りがなをつける。
 - (a) 読みまちがいやすいもの↓(5)
 - (b) 転成名詞はもとの語の送りがなのつけ方にならう↓(6)
 - ⑤ 副詞……語の最後の音を送る。↓(7)
 - ⑥ 複合語……もとの語の送りがなのつけ方にならう。
- ★例外も数多いので注意すること。(↓設問5)

4 次の各組のことばのうち、送りがなの正しい方をそれぞれ選びなさい。

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| (4) イ | ア | (1) イ | ア |
| 健か | 健やか | 再び | 再び |
| (5) イ | ア | (2) イ | ア |
| 省みる | 省りみる | 群がる | 群らがる |
| (6) イ | ア | (3) イ | ア |
| 潔い | 潔よい | 呼出す | 呼び出す |

5 次の——線部の語の送りがなが正しければ○、まちがってれば×を書きなさい。

- (1) 山の頂きに登る () (2) 勇しい人に出会う ()
- (3) 辺りが暗くなる () (4) 売り値は千円です ()
- (5) 道路が交わる () (6) 自ら申し出る ()
- (7) 合い図を送る () (8) 直に出動する ()

6 次の——線部のひらがなを、漢字と送りがなで書きなさい。

- (1) ねらいがはずれる。 ()
- (2) あくる朝、彼はかれいなくなつた。 ()
- (3) 日一日と寒さがやわらぐ。 ()
- (4) たぬきやきつねは人にばけるといふ。 ()
- (5) 彼女かのじよはほおをあからめた。 ()
- (6) 水位がいちじるしく低下した。 ()
- (7) これは友だちからあずかつた本だ。 ()
- (8) この仕事には多くの時間をついやした。 ()
- (9) 注文をうけたまわる。 ()
- (10) こまかい点までよく注意する。 ()
- (11) 実家は酒屋をいとなんでおります。 ()

② 漢字の成り立ち・部首

ポイント3 漢字の成り立ち

【例題】 次の(1)～(4)の漢字と成り立ちが同じものを、それぞれあとから選びなさい。

- (1) 森 (2) 月 (3) 河 (4) 下
ア 馬 イ 三 ウ 男 エ 持

【解法】 (1)の「森」は、二つ以上の文字を組み合わせた会意文字、(2)の「月」は、ものの形をかたどった象形文字です。また、(3)の「河」は、意味を表す部分(氵)と、音を表す部分(可)から成る形声文字、(4)の「下」は、形に表しにくいものを点や線を用いて表した指事文字です。

漢字には、この象形文字・指事文字・会意文字・形声文字に加え、もとの意味から新しい意味に変わった転注文字、読み方だけを借りた仮借文字があります。

【例】 転注文字…楽(もとは「音楽」の意)→「たのしい」の意
仮借文字…亜米利加・独逸

1 次の各組のうち、成り立ちが他の三つとは異なるものを、それぞれ選びなさい。

- (1) ア 頭 イ 鳴 ウ 銅 エ 花 ()
(2) ア 山 イ 川 ウ 林 エ 目 ()
(3) ア 中 イ 上 ウ 口 エ 末 ()

- (4) ア 泳 イ 明 ウ 休 エ 岩 ()

2 次の形声文字について、例にならって、意味を表す部分を上に、音を表す部分を下に、それぞれ書き分けなさい。

【例】 飯…
食
反

(1) 悲…
[]
[]

(3) 個…
[]
[]

(5) 球…
[]
[]

(2) 粉…
[]
[]

(4) 磁…
[]
[]

(6) 眼…
[]
[]

3 次の漢字を二つずつ組み合わせ、会意文字を四つ作りなさい。
(火 立 然 心 人(仁) 系 亡 子)

[] [] [] []

4 次の(1)・(2)にあてはまる形声文字を、それぞれ書きなさい。

- (1) 意味を表す部分が「系」で、「シ」の音をもつ文字 ()
(2) 意味を表す部分が「貝」で、「カ」の音をもつ文字 ()

ポイント4 漢字の部首

【例題】 次の漢字の部首名を、それぞれ書きなさい。

- (1) 快 () (2) 部 ()
- (3) 宿 () (4) 熟 ()
- (5) 圃 () (6) 康 ()
- (7) 達 ()

【解法】 部首は、大きく分けると次の七つに分類できます。

- ① へん 例 禾 才 言 イ 巾 糸 禾 ネ 糸
 - ② つくり 例 リ 巾 隹 夂 欠 夕
 - ③ かんむり 例 宀 冫 竹 雨 宀 一 夂 夕
 - ④ あし 例 心 灬 皿
 - ⑤ かまえ 例 冂 口 門 行
 - ⑥ たれ 例 冂 广 厂 疒
 - ⑦ によろ 例 辶 廴 走
- ★漢字の中には、まちがえやすい部首をもつものがあります。
 次のような漢字に気をつけましょう。
- 員 冂 口 栄 艹 木 応 冂 心 化 冂 匕 覚 冂 見 句 冂 口
 空 冂 穴 孝 冂 子 穀 冂 禾 問 冂 口 利 冂 利 放 冂 攴

5 次の漢字の部首を、例にならって書きなさい。

- 例 花 艹 艹
- (7) 医 ()
 - (8) 殺 ()
 - (9) 雑 ()
 - (4) 進 ()
 - (5) 若 ()
 - (6) 秋 ()
 - (1) 級 ()
 - (2) 無 ()
 - (3) 広 ()

6 次の漢字の部首と部首名を、例にならって書きなさい。

- 例 作 (亻) (にんべん)
- (1) 動 (阝) (2) 研 (石)
 - (3) 原 (厂) (4) 京 (亠)
 - (5) 発 (夕) (6) 国 (囗)
 - (7) 性 (忄) (8) 防 (阝)
 - (9) 盟 (冂) (10) 等 (冫)
 - (11) 区 (匚) (12) 冷 (冫)
 - (13) 歌 (欠) (14) 起 (冫)
 - (15) 空 (宀) (16) 断 (斤)

7 次の各組の中には、他と部首の異なるものが一つずつふくまれています。それらを選びなさい。

- (1) (ア) 関 イ 問 ウ 間 工 閉 才 開 ()
- (2) (ア) 機 イ 査 ウ 休 工 染 才 楽 ()
- (3) (ア) 史 イ 味 ウ 品 工 器 才 回 ()
- (4) (ア) 刷 イ 測 ウ 別 工 判 才 制 ()

8 次の(1)～(6)の漢字の部首と同じ意味を表す部首をもつ漢字を、それぞれあとから選びなさい。

- 例 材 ↓ 森
- (1) 指 (扌) (2) 泉 (水) (3) 切 (刀)
 - (4) 点 (灬) (5) 肉 (月) (6) 令 (卩)
 - ア 別 イ 体 ウ 腸 工 注 才 拳 力 灯

20

論説文の読解(2)

*練習問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

本文

本文

問一——線①「生きていくだけで個性を持っている」とありますが、これはどういうことを表していますか。次の中から選びなさい。

- ア 人はそれぞれいろいろなくせを持っているということ。
- イ 世の中に、一人として同じ人間はいないということ。
- ウ 人はそれぞれ個性的になるうとしていくということ。
- エ 人にはいろいろな考え方や生き方があるということ。

問二——線②「この矛盾のなかに問題がある」とありますが、どのような問題があるのですか。次の中から選びなさい。

- ア 他人の用意した「個性」を真の個性と錯覚して、安易にそれを求めてしまうという問題。
- イ 他人の用意した「個性」にあこがれるあまり、往々にして非行に走ってしまうという問題。
- ウ 日常生活において、なるべく個性を持つことを避けようと

❖ 発展問題

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

本文

本文

問一

——線①「科学の絶対化」とありますが、

- (1) 「科学の絶対化」とは、どのような考え方のことですか。
文中のことばを使って書きなさい。

- (2) 「科学の絶対化」と同じような内容を表している六字のことばを、**②**段落の中から書きぬきなさい。

問二 — 線②「現代のわれわれは……傾向を持っています」とありますが、そのような傾向を持つようになったのはなぜですか。次の中から選びなさい。

- ア 現代に至るまで科学というものはいつも正しかったから。
- イ 現代に至るまでの科学の成果があまりにも大きいから。
- ウ 現代に至るまで科学はいつも人間を幸福にしてくれたから。
- エ 現代に至るまで科学はあらゆることを説明してきたから。

問三 — A にあてはまることばを、次の中から選びなさい。

- ア つまり
- イ だから
- ウ そこで
- エ しかし

問四 — 線③「科学の本質」とはどういうものだと筆者は考えていますか。文中のことばを使って、四十字以内で書きなさい。

問五 — B にあてはまる四字のことばを、4段落の中から書きなさい。

問六 — 線④「非科学的な科学主義」とは、どのような考え方のことですか。次の中から選びなさい。

- ア 現代の科学的理論を絶対と考えて、それからはずれる現象はすべて存在しないと無視する考え方。
- イ 現代の科学的理論を絶対と考えて、この先究明すべきものは何もないとする考え方。
- ウ 理論ということを無視して、ただ経験のみによって自然界の現象を説明しようとする考え方。
- エ 事実ということを見無視して、ただ理論のみによって自然界の現象を説明しようとする考え方。

問七 — この文章で、筆者が最も述べたかったのはどういうことですか。次の中から選びなさい。

- ア 現在までの科学の目ざましい進歩発達を目にしては、われわれが科学を絶対と考えるのも当然のことである。
- イ われわれは、現代の科学がはらんでいる危険性についていま一度よく検討すべきである。
- ウ われわれは、現代の科学を盲信することなく、常に事実を事実として認める謙虚な態度が必要である。
- エ われわれは、何ごとも科学にたよるといふ従来の姿勢を改めて、もっと人間の感情面を大事にすべきである。

[2] 説明文を読んで、意見を書く

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

本文

本文

本文

漢字ドリル 5

① 次の——線の漢字の読みがなを書きなさい。

- (1) 自己じこしようかいしょうかいをする。
 (2) 垂直すいじくの線せんを引く。
 (3) 少しもすこしも気に病いむ必要ひつやはない。
 (4) 食品じふひんを供給きゅうきやうする。
 (5) 胸むねを張はって歩あく。
 (6) 学級委員がくきゅういに推おす人ひとを決きめた。
 (7) はつと我われに返かえった。
 (8) 姿勢しせいを正ただしてすわる。
 (9) 車窓くるまどのながめに興味きょうみをひかれる。
 (10) 鋼はがねのような精神しんぱん力を身みにつける。
 (11) 激流げきりゅうが橋はしをながす。
 (12) 悪口あくぐちを言いわれて無性むじやうに腹はらが立つ。
 (13) 時計とけいの針はりが時間じかんを示しす。
 (14) 母ははが洋裁やうさいを習まなう。
 (15) 問題もんだいの根源こんげんを考かんがえる。

② 次の——線のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) 料理りょうりを皿しらべに毛ける。
 (2) 本ほんをロウドクろうどくした。
 (3) 作業さぎやうにシシヨウしししょうをきたす。
 (4) みんなの前まへでシツタイしつたいを演あじた。

(5) カンケツかんけつに説明せつめいする。

- (6) マドガラスまどがらすをきれいにふく。
 (7) 用紙ようしのウラうらと表あはを確たかめる。
 (8) 友人ゆうじんのチュウウコクちゅううこくを聞きく。
 (9) シンゾウしんぞうの音ねが高鳴たかる。
 (10) 作業さぎやうのノウリツのうりつを上げあげる。
 (11) イズミいずみの水みづは清きらかだ。
 (12) 友人ゆうじんの家いへをホウモンほうもんする。
 (13) 学校がっこうのソウリツそうりつ記念日きねんじつで休やすみだった。
 (14) 実力じつりきをハッキはっきした。
 (15) そのとおりだとミトみとめる。

③ 次の——線のカタカナを送りがなをつけて漢字に直しなさい。

- (1) 目上めがしの人ひとをウヤマウ。
 (2) 教室きやうしつのいすをナラベル。
 (3) 初日はつじつの出いでをオガム。
 (4) 決められた場所きめられたばうしよにごみごみをステル。
 (5) 風かぜがハゲシクはげしくふいた。
 (6) すっかり日ひがクレタ。
 (7) じゃ口じゃぐちから水みづがタレル。
 (8) ワザワイわざわい転まじて福ふくとなる。
 (9) 山やまにノゾンデ家いへが建たつ。

4 次の各組の——線の同音異義語を漢字に直しなさい。

- (1) ① 人生のイギを考^るえる。
 ② 提案にイギをと^なえる。
 () () () ()
- (2) ① 切手をシユウシユウする。
 ② 事態のシユウシユウに努^める。
 () () () ()
- (3) ① 身元をホシヨウ^する。
 ② 乗客の安全をホシヨウ^する。
 () () () ()

5 次の()に「不・無・非・未」のどれかをに入れて、三字熟語をつくりなさい。

- (1) () 始末 (2) () 所属 (3) () 公式
 (4) () 完成 (5) () 造作 (6) () 心得

6 次の()に漢字を入れて、四字熟語をつくりなさい。

- (1) 一朝一() (2) 大同小() (3) () 意工夫
 (4) 前代未() (5) 絶() 絶命 (6) () 名無実
 (7) 二() 三文 (8) 半信半()

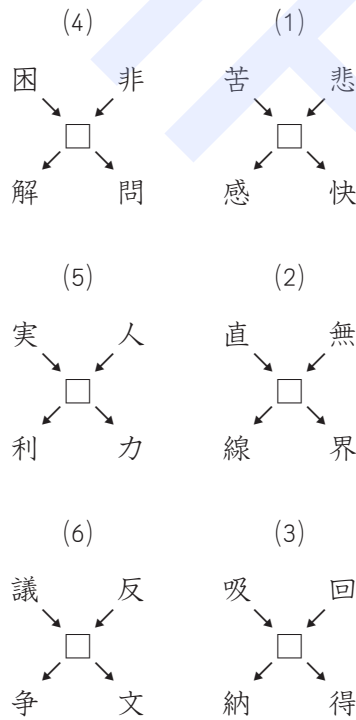
7 次の漢字の訓読みを送りがなにしたがって答えなさい。

- (1) 降 () () () ()
 ② ① () () () ()
 ② ① () () () ()
- (2) 閉 () () () ()
 ② ① () () () ()
 ② ① () () () ()
- (3) 映 () () () ()
 ② ① () () () ()
 ② ① () () () ()
- (4) 優 () () () ()
 ② ① () () () ()
 ② ① () () () ()

8 次の()にあとのことばを漢字に直して入れて、三字熟語をつくりなさい。

- (1) 砂() 林 (2) 宇() 船 (3) () 議院
 (4) 週() 誌 (5) () 談会 (6) () 失物
 ざ かん ぼう ちゅう い しゅう

9 次の□の中に漢字を入れて、↓の方向に読むと熟語ができるようにしなさい。



10 次の——線を正しい同音異字に直しなさい。

- (1) 鏡に自分の顔が写^るる。
 () () () ()
- (2) 温^かな毛布をかける。
 () () () ()
- (3) めんどうな用事が住^むむ。
 () () () ()
- (4) さまざまなことがあって今日に痛^むる。
 () () () ()
- (5) 朝早く目が冷^める。
 () () () ()
- (6) この良^しあしを判断する。
 () () () ()
- (7) 決勝戦で破^れれた。
 () () () ()

マイ ジュック
My Juck

国語 **6**

解答と解説



一・読解力をつける・国語の知識

1 説明文の読み方(1)

4～7ページ

〔基本問題〕 問一 Aエ Bア Cイ Eウ 問二 イ 問三 鼻毛はよく

ある 問四 小さなゴミや、目に見えないようなカビなどの微生物

問五 小さなゴミや微生物

〔練習問題〕 問一 Aエ Bイ Cオ 問二 ⑩(段落) 問三 ④火が入

類に使われるようになったこと。 問四 エ 問五 木をまきつけて火

をおこす方法

解説

2 説明文の読み方(2)

8～11ページ

〔基本問題〕 問一 ④「書く」ことで考えの展開がうながされること

ある。 問二 ア 問三 ア・エ 問四 ④自分の気持ちや考えを十分に

相手に伝えるには、前もって文字にし、自分の考えを確認すること

である。 問五 ウ

解説

解説

〔練習問題〕 問一 ウ 問二 エ 問三 ④ことばは、ものごとの代わりに

なる。 問四 たとえば野(野球でいい) 問五 ことば 問六 ことば

は人間の専売特許 問七 ①②(段落) ②⑤(段落) 問八 ア 問九 ウ

① かなづかい・送りがない

解説

【例題】 (1)○ (2)× (3)○ (4)○ (5)× (6)○ (7)× (8)○

1 (1)ア (2)イ (3)ア (4)ア (5)イ (6)イ (7)イ (8)ア (9)ア

2 (1)おもてどお(り) (2)みかづき (3)おうらい (4)かきごおり

(5)えいせい (6)あじ(わう) (7)そこちから (8)あず(ける) (9)きず

(く) (10)ずが (11)ちぢ(む) (12)むずか(しい)

3 (1)「こんにちは」というと、ようやく向こうも気づいてくれた。

(2)どうりで兄はじしんまんまんのはずだと、ぼくはうなずいた。

【考え方】 (2)「どうり」は「道理」と書きます。「通り」とまちがえないようにしましょう。

【例題】 (1)耕す (2)快い (3)従う (4)易しい (5)後ろ (6)訪れ (7)必ず (8)和やかな

4 (1)イ (2)イ (3)ア (4)ア (5)イ (6)イ

5 (1)× (2)× (3)○ (4)× (5)○ (6)○ (7)× (8)×

【考え方】 (1)・(4)・(7)は送りがないが不要で、それぞれ「頂」「売値」「合

図」と書き、このような送りがない複合語の名詞には、ほ

かに、書留・小包・割引・組合・夕立・木立・番組・役割・合間・

植木・立場などがあります。(2)は「勇ましい」、(8)は「直ちに」が

正しい送りがないのつけ方です。

6 (1)外れる (2)明くる (3)和らぐ (4)化ける (5)赤らめた (6)著し

く (7)預かった (8)費やした (9)承る (10)細かい (11)管んで

② 漢字の成り立ち・部首

14～15ページ

【例題】 (1)ウ (2)ア (3)エ (4)イ

- 1 (1)イ (2)ウ (3)ウ (4)ア

考え方 (1)イは会意、他は形声文字。(2)ウは会意、他は象形文字。

(3)ウは象形文字、他は指事文字。(4)アは形声文字、他は会意文字。

- 2 (1)心・非 (2)米・分 (3)イ・固 (4)石・茲 (5)王・求 (6)目・良

考え方 (5)「王」は、「玉」を表す部首。

- 3 燃・位・忘・孫

- 4 (1)紙 (2)貨

【例題】 (1)りっしんべん (2)おおざと (3)うかんむり (4)れんが(れ

つか) (5)くがまえ (6)まだれ (7)しんによ

- 5 (1)糸 (2)心 (3)尸 (4)之 (5)艹 (6)禾 (7)匚 (8)攴 (9)隹

6 (1)カ・ちから (2)石・いしへん (3)尸・がんだれ (4)土・なべぶ

た (5)火・はつがしら (6)口・くがまえ (7)巾・りっしんべん

(8)下・ござとへん (9)皿・さら (10)艹・たけかんむり (11)匚・かく

しがまえ (12)辵・にすい (13)欠・あくび (14)走・そうによ (15)宀・

あなかんむり (16)斤・おのづくり

- 7 (1)イ (2)ウ (3)オ (4)イ

考え方 (1)イの部首は「口」、他は「門」。(2)ウの部首は「イ」、他

は「木」。(3)オの部首は「口」、他は「口」。(4)イの部首は「辵」、

他は「辵」。

- 8 (1)オ (2)エ (3)ア (4)カ (5)ウ (6)イ

考え方 「海」と「水」のように、形がちがっても元の意味が同じ

ものは、一つの部首として分類され、漢和辞典でも同じところに

のっています。

次講座

20 論説文の読解(2)

146～151ページ

〔練習問題〕 問一イ 問二ア 問三ウ 問四自分がどういう人間であるかを見定めること 問五A自分 B画一化 問六ウ 問七例お仕着せの、外から与えられる物だけで個性をえようとすること。
問八イ・オ

解説

〔発展問題〕 問一(1)例あらゆることは「科学的」に解明されるし、また解明されねばならないという考え方。(2)科学万能主義 問二イ 問三エ 問四例まず事実を事実として認め、その事実を説明する。ための理論を組み立ててゆくこと。 問五非科学的 問六ア 問七ウ

解説

【2】 説明文を読んで、意見を書く

152～157ページ

1 問一例東京の高層ビル街には、ハヤブサの棲息に必要な上昇気流があり、餌となるドバトがたくさんいるから。 問二例野生動物は、われわれ人間が考える以上に環境適応能力を持っている。今日の自然界に生きる野生動物たちは、人工物を受け入れて生活していることを考えに入れながら、保護し、共に生きていくべきだ。

解説

2 問一例食糧の絶対量が不足しているわけではないのに、食糧が、食糧を必要としている人のところにないため、多くの人が飢餓におちいつているという問題。 問二例都市民は食糧不足を訴えるチャンスをもっているという点。 問三例農民は、多くの所得になる作物をつくるということ。 問四例中国やインドのような途上国は巨大な人口があるので、近代化によって消費が増えれば、地球の資源はなくなってしまう。また、石油などの資源の大量消費によって大気汚染が進み、地球環境が破壊されてしまうから。

- ①
 (7) われ (1) じこ (2) すいちよく (3) や
 (8) しせい (9) しゃそう (4) きようきゆう
 (10) はがね (11) げきりゆう (5) むね
 (6) お

解説

次講座

- ② (1) 盛 (2) 朗読 (3) 支障 (4) 失態 (5) 簡潔 (6) 窓 (7) 裏 (8) 忠告
 (9) 心臓 (10) 能率 (11) 泉 (12) 訪問 (13) 創立 (14) 發揮 (15) 認
- ③ (1) 敬う (2) 並べる (3) 拝む (4) 捨てる (5) 激しく (6) 暮れた
 (7) 垂れる (8) 災い (9) 臨んで
- ④ (1) ①意義 ②異議 (2) ①収集 ②收拾 (3) ①保証 ②保障
 (1) 不 (2) 無 (3) 非 (4) 未 (5) 無 (6) 不
- ⑤ (1) 夕 (2) 異 (3) 創 (4) 聞 (5) 体 (6) 有 (7) 束 (8) 疑
 (4) ①やさ ②すぐ
- ⑦ (1) ①ふ ②お (2) ①と ②し (3) ①うっ ②は
- ⑧ (1) 防 (2) 宙 (3) 衆 (4) 刊 (5) 座 (6) 遺
- ⑨ (1) 痛 (2) 視 (3) 収 (4) 難 (5) 権 (6) 論
- ⑩ (1) 映 (2) 暖 (3) 濟 (4) 至 (5) 覚 (6) 善 (7) 敗